

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
高津川流域の減災に係る取組について

令和4年度 第2回 協議会

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

益田市、島根県、松江地方気象台
国土交通省浜田河川国道事務所

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 規約

(協議会の実施事項)

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

一 洪水の浸水想定等の水害リスク情報並びに、各構成員がそれぞれ又は連携して実施している現状の減災に係る取組状況等の共有。

二 円滑かつ迅速な避難、的確な水防活動及び円滑かつ迅速な氾濫水の排除を実現するために、各構成員がそれぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた「地域の取組方針」の作成・共有。

三 「地域の取組方針」に基づく対策の実施状況の確認。

四 その他、大規模氾濫に関する減災対策に関して必要な事項を実施。

(1) 令和4年度の実施状況

(2) その他

(1) 令和4年度の実施状況

減災対策協議会の開催（令和4年度 第1回協議会）

高津川

平成28年度から取り組んでいる減災に係わる取組方針は当初目標としていた5年が経過したことから、令和3年5月に今後5か年の取組方針として改定しました。

本協議会では、各関係機関が令和4年度に取り組む対策について共有しました。また、浜田河川国道事務所は、防災教育・出前講座・SNSを活用した災害情報等の発信・収集等に重点をおき、取組を実施・支援していきます。

なお、会議は、益田圏域県管理河川に関する減災対策協議会と合同開催とし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からweb会議方式で実施しました。

【開催日】令和4年6月3日（金）

【場所】Web会議（Microsoft Teams）

【参加機関】益田市、島根県（防災部、土木部）、松江地方気象台、浜田河川国道事務所



Web会議による高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会の様子

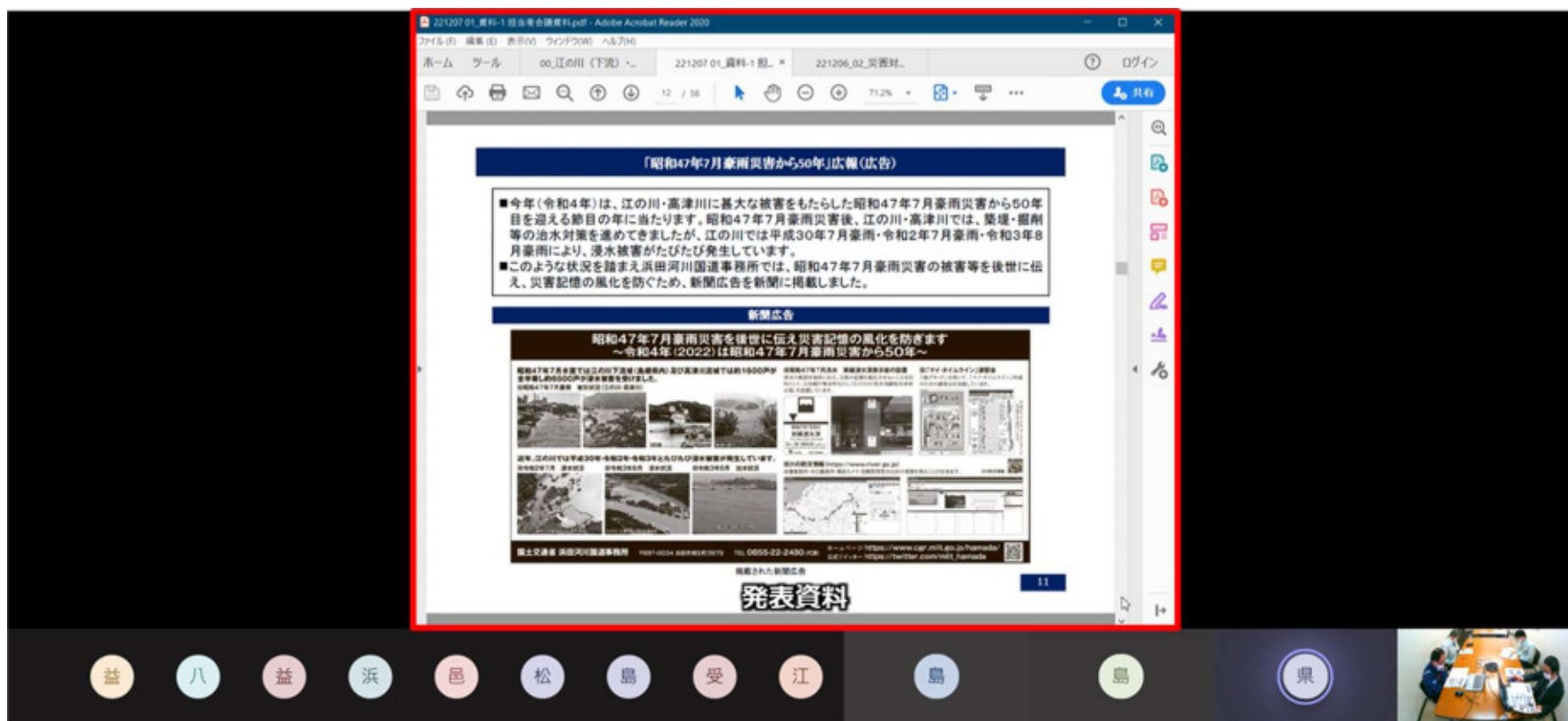
令和4年度は、7月の前線性降雨により江の川（下流）及び高津川において、氾濫注意水位を超過し、9月の台風第14号では、高津川の高角水位観測所において氾濫危険水位に到達しました。

このことから、今年度の振り返りとして出水概要や今年度の各機関の防災・減災に関する取組を共有するために担当者会議を開催しました。

【開催日】 令和4年12月7日（金）

【場所】 Web会議（Microsoft Teams）

【参加機関】 江津市、川本町、美郷町、邑南町、益田市、島根県（防災部、土木部）、浜田県土整備事務所、県央県土整備事務所、益田県土整備事務所、松江地方気象台、浜田河川国道事務所



Web会議による江の川水系（下流）・高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会幹事会担当者会議の様子

令和4年度の実施状況

- 令和4年度第1回減災対策協議会において、令和4年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p - 8以降に示します。

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和4年度の実施状況
■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備		
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	国交省	・【国交省】高津川の危機管理型水位計を更新
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	国交省・ 松江地方気象台	・【国交省】高津川高角橋下流左岸側に設置してある水位表示板を警戒レベル奨励配色の水位表示板に更新、指定河川洪水予報（国河川）の氾濫危険情報を予測でも発表 ・【気象台】①線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から呼びかけ、②キキクル（危険度分布）の改善（「黒」の新設、「うす紫」と「濃い紫」を統合し、警戒レベルに整合）、③大雨特別警報（浸水害）の指標を改善、④指定河川洪水予報（国河川）の氾濫危険情報を予測でも発表、⑤高潮の早期注意情報（警報級の可能性）を毎日発表
■ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等		
・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供	益田市	・【益田市】避難確保計画策定等支援の実施
・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討	益田市	・【益田市】発令基準や災害時動員体制を再確認
■ 多様な防災活動を含むタイムラインの作成		
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	協議会全体	・【国交省】水害タイムラインの立ち上げ（高津川：3回）、出水期前にタイムラインの運用方法の確認、出水期後に振り返りのため検討会を実施
■ 情報伝達、避難計画等に関する事項		
・洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	協議会全体	・【島根県】県管理河川における情報提供を実施 ・【国交省】江の川（下流）・高津川の流域自治体と台風接近3日前に情報共有のためWeb会議を実施（今後、松江地方気象台・島根県と協議予定）

令和4年度の実施状況

- 令和4年度第1回減災対策協議会において、令和4年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-8以降に示します。

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和4年度の実施状況
■ 防災教育や防災知識の普及		
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【島根県】水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信 ・【国交省】高津川だよりにて、河川水位や河川カメラ情報の入手先として川の防災情報を周知、Twitterを活用した防災情報の発信 ・【気象台】①島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ（土砂災害編・洪水編）」を開催、②島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「youtube」にて配信。
・小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【益田市】出前講座等を実施 ・【島根県】出前講座を実施（10/6日原小学校（津和野町）） ・【国交省】11/23 西益田小学校で出前講座を実施
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【島根県】新聞広報（考える県政）による情報発信 ・【国交省】高津川だより第4号～第6号の発行 ・【気象台】「島根県総合防災訓練」において、広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施し、防災知識の普及・啓発を行った。
・住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	益田市・島根県・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【国交省】「昭和47年7月豪雨災害から50年」に関する新聞広告・展示パネル・記録資料の作成流域自治体で「昭和47年7月豪雨災害から50年」に関するパネル展を実施

②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

主な取組項目	取組機関	令和4年度の実施状況
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化		
・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【益田市】水防工法等の演習を実施 ・【国交省】国交省職員・防災エキスパート・コンサルタントと共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施
・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認	益田市・島根県・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【益田市】令和4年度益田市水防計画策定
・市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	益田市	<ul style="list-style-type: none"> ・【益田市】機能確保のため庁舎点検等を実施
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	益田市・島根県・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【国交省】井谷救急内水排水機場の操作説明会を実施

国土交通省
浜田河川国道事務所

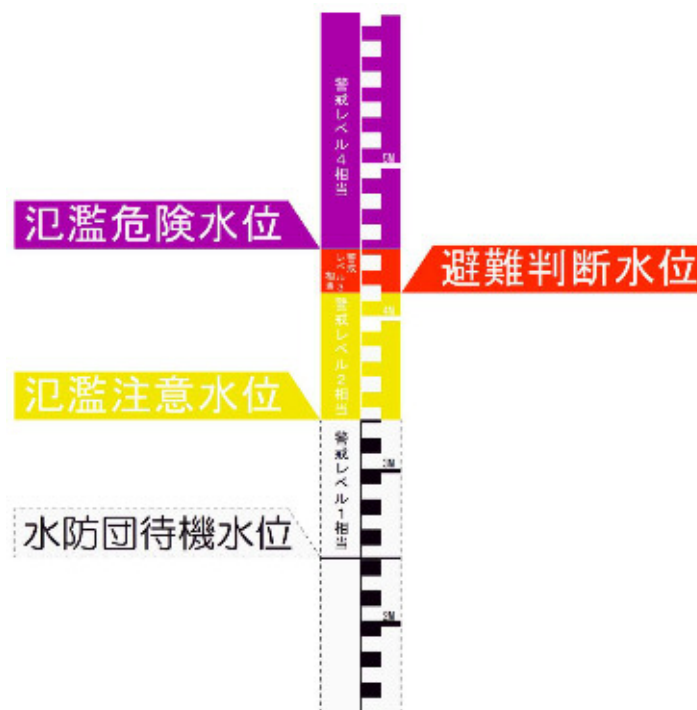
項目	避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	
内容	令和4年当初計画	水位表示板の更新・設置
	令和4年実施状況	高津川高角橋下流左岸側の護岸に設置してある水位表示板を更新
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 内閣府では、警戒レベル5段階の警戒レベルの違いを分かりやすく伝えるために、配色を統一させ、色のイメージを定着させるために、様々な色覚の人にも可能な限りわかりやすいものになるように、警戒レベルの推奨配色を定めました。
- 令和4年度は、高津川高角橋下流左岸側の護岸に設置してある水位表示板を更新しました。



更新後の水位表示板（高津川高角橋）

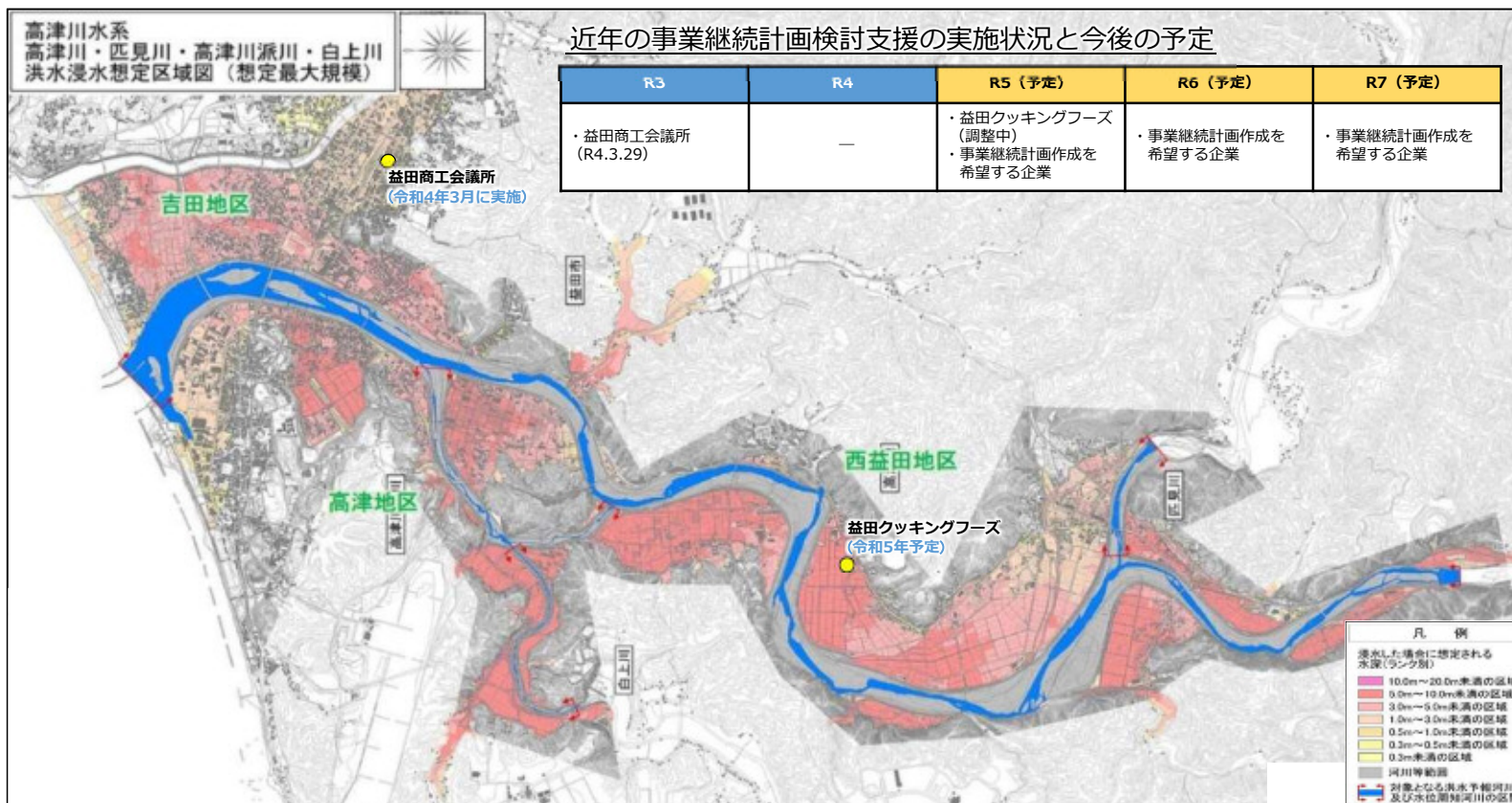


水位表示板（警戒レベル推奨配色）

項目	高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	
内容	令和4年当初計画	R3年度に実施した益田商工会議所でのBCPセミナーを踏まえ、企業（1社）の水害BCP作成を支援
	令和4年実施状況	—
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 今年度予定していた益田クッキングフーズについて、来年度にBCPセミナーが実施できるように協議します。
- その他事業継続計画作成を希望する企業を対象に、来年度以降もセミナー等を通して事業継続計画の検討支援を実施します。



項目	洪水時における河川管理者からの情報提供	
内容	令和4年当初計画	Twitterを活用した災害情報等の発信・収集
	令和4年実施状況	Twitterを活用し、河川や道路の情報発信・情報収集を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○ 浜田河川国道事務所の公式Twitterを運用し、事務所が管轄する河川や道路の情報発信・情報収集を行いました。

国土交通省 **浜田河川国道事務所**

公式 Twitter はじめました!



主な更新内容

江の川・高津川
山陰道・国道9号・国道191号

に関する情報を発信しています!

災害情報等を収集します

#(ハッシュタグ)検索をして事務所管内の情報を収集し、河川や道路の管理や事業に活用させていただきます。

※ 詳細については裏面をご覧ください。

お問合せ 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所
調査設計課
〒697-0034
島根県浜田市相生町3973 TEL0855-22-3129



安全で安心できる地域づくりの会のツイッターの投稿



国土交通省 浜田河川国道事務所 @mlit_hamada · 2022年6月2日
＼#高津川 安全で安心できる地域づくりの会を開催しました！
高津川沿線の自治会長や公民館長にお集まり頂き、安全で安心できる地域づくりの会を開催しました。
高津川のこれからの事業の参考となる沢山の貴重なご意見を頂きました。ありがとうございました。
#島根県 #益田市 #河川 #防災 #減災

堤防異常を想定した防災訓練のツイッターの投稿



国土交通省 浜田河川国道事務所... @mlit_hama... · 2022年10月31日
【令和4年度地震・津波訓練を実施中！】
南海トラフ巨大地震を想定し、浜田河川国道事務所では、地震による山陰道の通行止め、国道9号の法面からの土砂流出、高津川の堤防異常を想定して、被災状況の迅速で正確な収集・伝達、所管施設の点検の進め方、災害復旧の対応等の訓練を実施しています。

令和4年度 地震・津波対策訓練の様子（浜田河川国道事務所）

災害対策本部（本局）への状況報告

災害情報等の情報整理

国土交通省 中国地方整備局 @mlit_chugoku · 2022年10月31日
【訓練を行っています！】
本日（10/31）9：30～中国地方整備局管内全体で、地震・津波対策訓練を実施中！
南海トラフ巨大地震を想定し、対策に万全を期する...

項目	小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実	
内容	令和4年当初計画	高津川流域の小学校を対象に、義務教育内に1度は防災教育を実施
	令和4年実施状況	11/22に西益田小6年生（36名）を対象に出前講座を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 令和4年11月22日に島根県益田市の西益田小学校で行われた防災学習の際には、「降雨体験機」を校庭に設置して、気象庁で発表される「はげしい雨」「非常にはげしい雨」といった降雨を生徒のみなさんに実際に体験して頂きました。
- 洪水浸水想定区域周辺の小学校を対象に、来年度以降も小学校防災教育を順次実施します。

今年度の取組



出前講座（座学）の様子



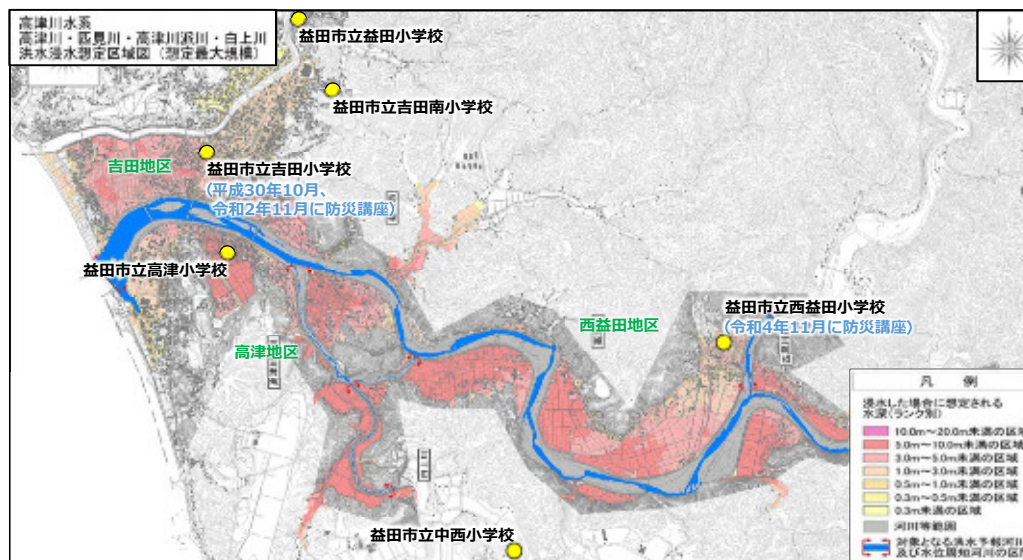
降雨体験の様子

降雨体験機の感想

- 傘が壊れるかと思った。
- 雨の音が大きすぎて、一緒に入ったクラスメートの声も聞こえなかった。
- こんな雨が降ったら怖い。

などの感想がありました。多くの皆さんが、実際に傘を打つ雨を体験し、天気予報で伝えられている「猛烈な雨」などの降雨がどのくらい強い雨であるのかを実感していました。

来年度の取組予定



近年の小学校防災教育の実施状況と今後の予定

R3	R4	R5 (予定)	R6 (予定)	R7 (予定)
—	・西益田小学校 (R4.11.22)	・吉田小学校 ・西益田小学校 ・高津小学校	・吉田小学校 ・西益田小学校 ・吉田南小学校	・吉田小学校 ・西益田小学校 ・益田小学校

項目	堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供	
内容	令和4年当初計画	「高津川だより」による広報
	令和4年実施状況	高津川だより（第4号～第6号）の配布
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○高津川出張所の仕事を、地域の皆さんに理解してもらうために「高津川だより」を発刊しました。令和4年度は、高津川だより第4号～第6号を配布し浜田河川国道事務所HP上で公開しました。



高津川だより（第4号）



高津川だより（第5号）



高津川だより（第6号）

項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和4年当初計画	逃げキッド【昭和47年から7月豪雨から50年版】を作成、新聞広告
	令和4年実施状況	昭和47年7月豪雨災害に関する新聞広告を新聞に掲載
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 今年、江の川・高津川に甚大な被害をもたらした昭和47年7月豪雨災害から50年を迎える節目の年にあたります。
- 昭和47年7月豪雨災害後、江の川（下流）・高津川では、築堤・掘削等の治水対策を進めてきましたが、江の川（下流）では平成30年7月豪雨・令和2年7月豪雨・令和3年8月豪雨により、浸水被害がたびたび発生しています。
- このような状況を踏まえ浜田河川国道事務所では、昭和47年7月豪雨災害の被害等を後世に伝え災害記憶の風化を防ぐため、新聞広告を新聞に掲載しました。

昭和47年7月豪雨災害を後世に伝え災害記憶の風化を防ぎます ～令和4年（2022）は昭和47年7月豪雨災害から50年～

昭和47年7月水害では江の川下流域（島根県内）及び高津川流域では約1600戸が全半壊し約6600戸が浸水被害を受けました。

■昭和47年7月豪雨 被災状況（江の川・高津川）

■昭和47年7月洪水 実績浸水深表示板の設置
洪水の教訓を後世に伝え、災害の記憶を風化させないことを目的として、公民館や集会所などに「江の川47洪水実績浸水深表示板」を設置しています。

■「マイ・タイムライン」講習会
「逃げキッド」を用いて、「マイ・タイムライン」作成のための講習会を実施しています。

近年、江の川では平成30年・令和2年・令和3年とたびたび浸水被害が発生しています。

■令和2年7月 浸水状況 ■令和3年8月 浸水状況 ■令和3年8月 出水状況

■川の防災情報 (<https://www.river.go.jp>)
雨量観測所・水位観測所・簡易カメラ・危機管理型水位計の情報を得ることができます。 川の防災情報

国土交通省 浜田河川国道事務所 〒697-0034 浜田市相生町3979 TEL 0855-22-2480（代表）

ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>
公式ツイッター https://twitter.com/mlit_hamada

掲載された新聞記事

「昭和47年7月豪雨災害から50年」 広報（パネル展） 浜田河川国道事務所

項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和4年当初計画	逃げキッド【昭和47年から7月豪雨から50年版】を作成、新聞広告
	令和4年実施状況	昭和47年7月豪雨災害に関するパネル展を高津川流域自治体で開催
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

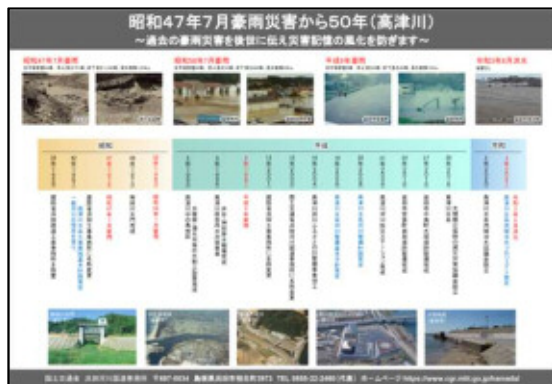
○浜田河川国道事務所では、昭和47年7月豪雨災害の被害等を後世に伝え災害記憶の風化を防ぐため、パネル展を流域自治体で開催しました。



昭和47年7月豪雨による被害（高津川）



津和野町役場



高津川治水年表



マイ・タイムライン講習会の様子



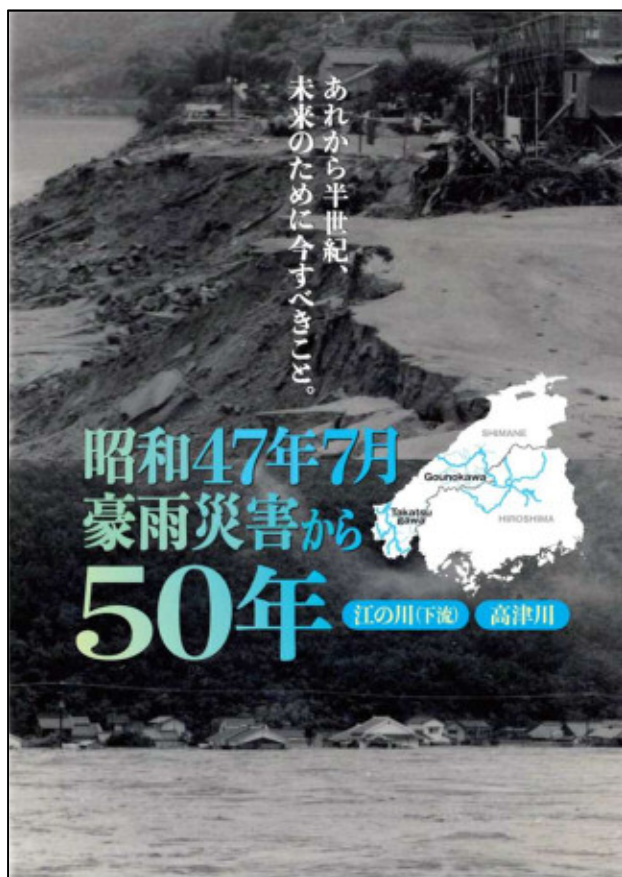
吉賀町役場

「昭和47年7月豪雨災害から50年」 広報（記録資料） 浜田河川国道事務所

項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和4年当初計画	逃げキッド【昭和47年から7月豪雨から50年版】を作成、新聞広告
	令和4年実施状況	昭和47年7月豪雨災害に関する記録資料を作成・配布
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○ 浜田河川国道事務所では、昭和47年7月豪雨災害の被害等を後世に伝え災害記憶の風化を防ぐため、記録資料を作成しました。



昭和47年7月豪雨

出典：国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所「高津川のあゆみ(4. 洪水と治水の歴史)」、鳥取県「昭和47年災害」

概要

山田市 河川氾濫により浸水した住宅地の様子

7月9日から中国地方に梅雨前線が停滞したため、朝から断続的に雨が降り、夜にかけて鳥根県西部を中心に強く降りました。降り始めから15日までの6日間で、鳥根県の広い範囲において総降雨量500mm以上の記録的な豪雨になりました。
高津川流域では、日原雨量観測所(津和野町)において24時間の最大降水量が272mmを記録し(11～12日)、下流域の高角水位観測所(益田市)では11日に警戒水位3.10mを大きく超過して最高水位が8.10mとなりました。
昭和47年産雨により、高津川流域では戦後最大の流量を観測し、堤防決壊等の被害がもたらされました。また、山間部では、土壌の水分量が飽和したことで斜面崩壊の被害が相次ぎました。【出典】

気象概況

被災状況

人的被害		家屋被害			浸水範囲	
死者(人)	行方不明者(人)	全壊(戸)	半壊(戸)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	浸水面積(ha)
0	0	64	751	1,232	1,254	

昭和47年7月豪雨の概要（高津川）

項目	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	
内容	令和4年当初計画	—
	令和4年実施状況	6/10井谷救急内水排水機場で操作説明会を実施。
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】












- 高津川で洪水が発生した際に、迅速に対応できるよう梅雨前の6/10に益田市の井谷救急内水排水機場で排水設備の操作説明会を実施しました。



井谷救急内水排水機場 操作説明会

- 自然災害伝承碑とは、過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメントです。
- 過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなどを地形図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指すもので浜田河川国道事務所管内の自然災害伝承碑を整理しました。
- 具体的な場所は、下記のURLから確認可能です。

https://maps.gsi.go.jp/#7/35.366656/138.735352/&base=pale&ls=pale|disaster_lore_all&disp=11&lcd=disaster_lore_all&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m

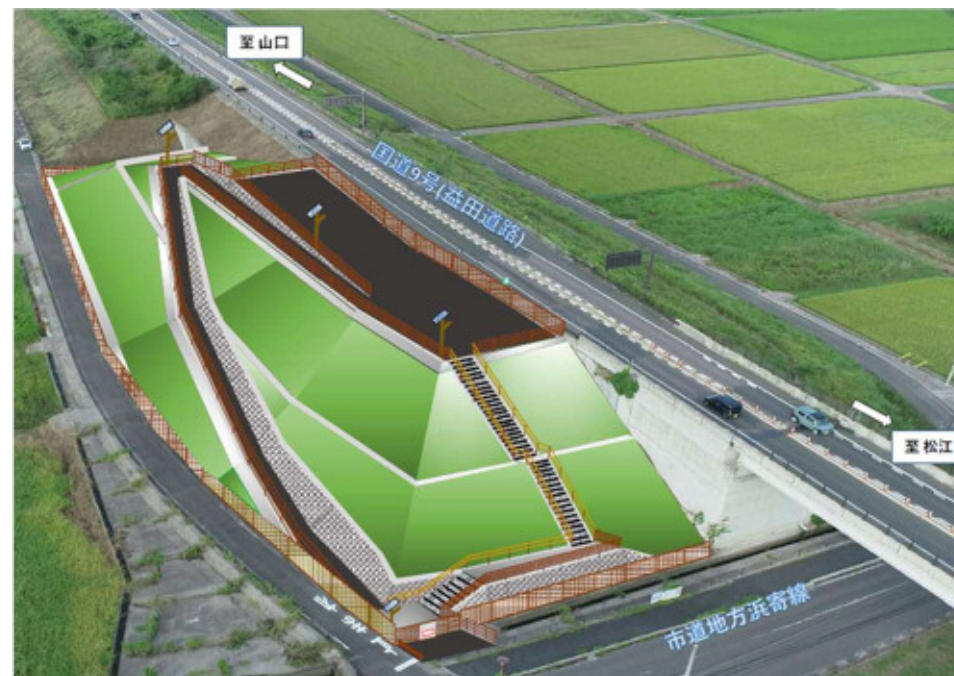
<p>防災祈念碑 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p>復旧記念碑 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p>五十八年山陰豪雨災害 追悼之碑 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p>静流の鐘塔 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p>上江川橋 災害名：洪水 (1905年、1920年、 1943年、1951年)</p> 	<p>不可遺忘之紀 (いぼうすべからずのき) 災害名：洪水 (1850年7月9、13日)</p> 
<p>昭和18年大水害死者菩提塔 災害名：昭和18年台風26号 (1943年9月19日)</p> 	 <p>浜田河川国道事務所管内の 自然災害伝承碑マップ ※赤枠：令和4年度追加</p>				<p>漸に杜ぎ、蒨に防ぐ（ぜんに ふさぎ、ぼうにふせぐ） 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 
<p>昭和58年豪雨災害 復旧記念碑 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 					<p>大洪水碑 災害名：昭和47年7月豪雨 (1972年7月12日)</p> 

- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」において実施している「道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策」では、出水時にマイ・タイムラインに沿った避難所や近隣の安全なエリアへの避難が間に合わない場合を考慮し、避難先の選択肢として、頑丈な構造物に避難できるように国道9号（益田道路）に緊急避難場所を整備しています。
- 緊急避難場所（益田道路）は今年度から整備を開始しており、令和5年5月頃 完成予定です。

緊急避難場所の整備状況（2022年12月ごろ）



緊急避難場所の完成予想図



防 草 対 策 : 防草シート
照 明 : 4基
手 摺 り : 階段部のみ

- 大雨による浸水被害が頻発するなか、迅速な災害対応や地域への情報発信を行うため、堤防における越水や決壊などの状況や、周辺地域における浸水の状況を、速やかに把握することが求められています。
- 令和5年度 ワンコインセンサの実証実験を行うために、自治体・民間企業等を対象として、実証実験への参加者を公募中。

浸水被害の把握

【既存の技術】

ヘリによる調査

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可

リアルタイム性



痕跡調査

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門技術者が必要

機動力

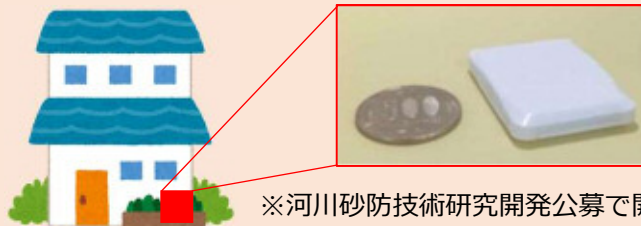


ワンコインセンサ

【技術開発】

センサの特徴

- ・小型、長寿命かつ低コストで、流域内に多数設置が可能な浸水センサ



※河川砂防技術研究開発公募で開発したセンサ

- ・小型化
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ



【表示イメージ】

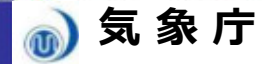


松江地方气象台

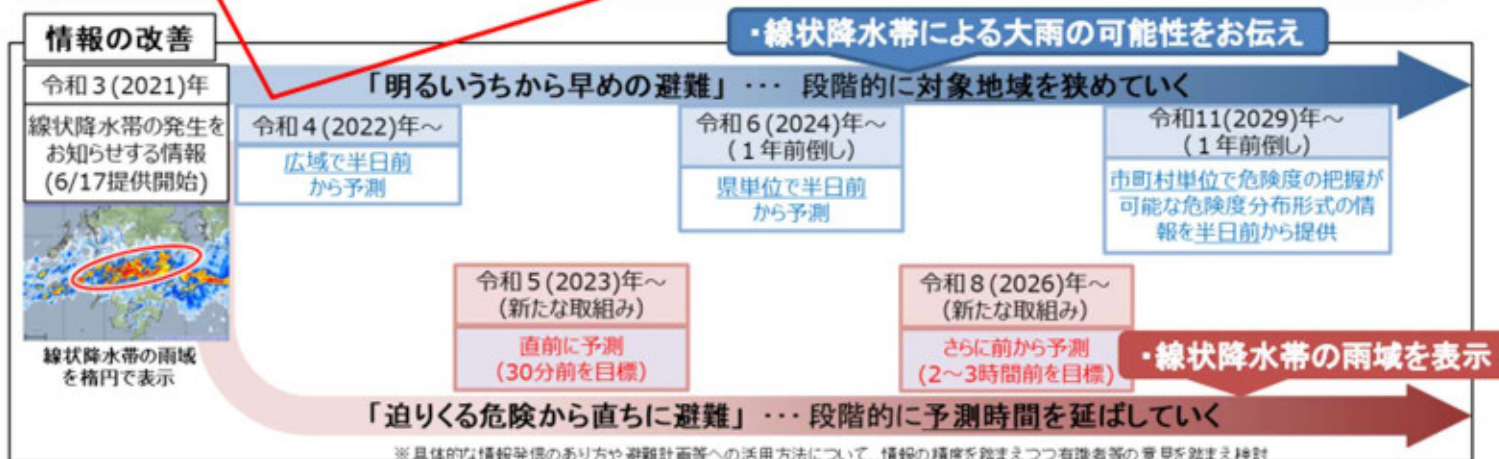
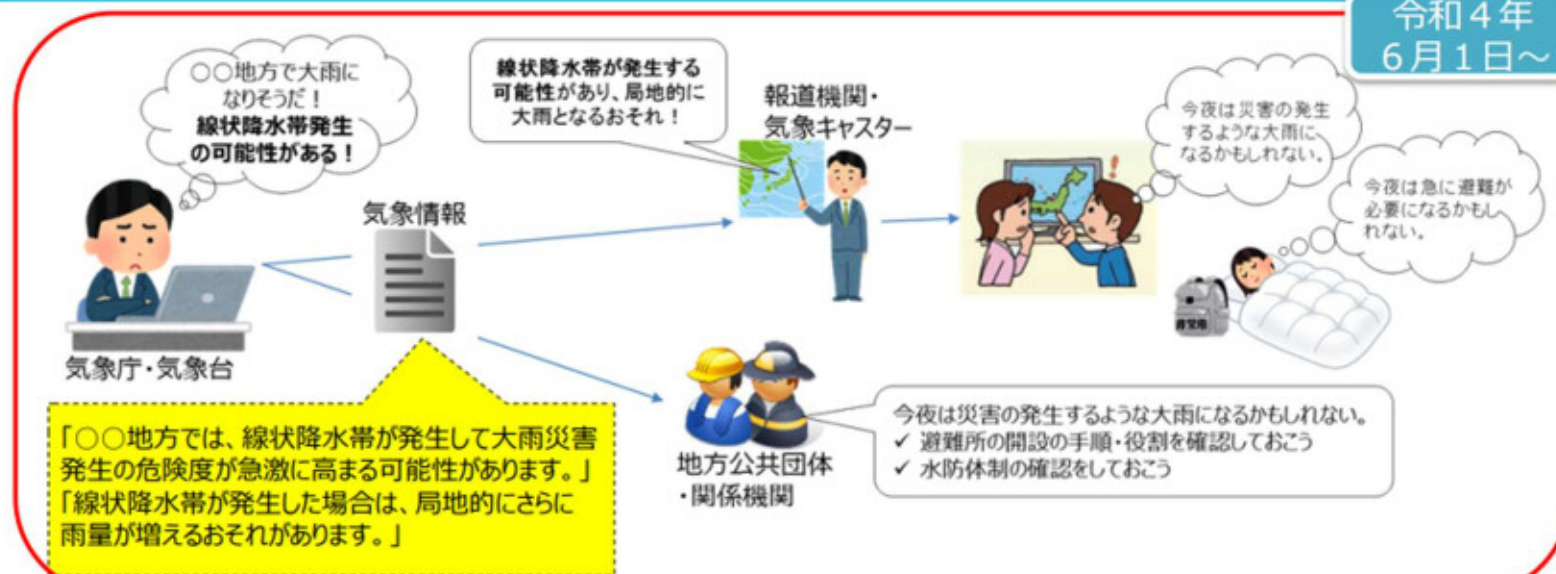
避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

「線状降水帯」による大雨の可能性を半日前からお伝えします



令和4年
6月1日～



避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

大雨特別警報（浸水害）の指標の改善

令和4年
6月30日～



＜改善のポイント＞ 警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い「指数」を用いて大雨特別警報（浸水害）の新たな基準値を設定。

＜改善前の課題＞

大雨特別警報（浸水害）を発表したが多大な被害までは生じなかった事例が多くみられる（例：平成26年8月の三重県の大雨事例、平成26年9月の北海道の大雨事例、平成29年7月の島根県の大雨事例）。

また、多大な被害が発生したにも関わらず、大雨特別警報（浸水害）の発表に至らなかった事例もみられる。

特別警報の 指標に用いる 基準値	大規模な浸水害を高い確度で適中させるよう指標、基準値を設定	
	中小河川氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように流域雨量指数の指標、基準値を設定	内水氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように表面雨量指数の指標、基準値を設定

洪水キキクル「災害切迫」(黒)の判定に用いる。

浸水キキクル「災害切迫」(黒)の判定に用いる。

- ✓ 大雨特別警報（浸水害）の対象地域を大幅に絞り込んだ発表が見込まれる。
- ✓ 島しょ部など狭い地域への発表も可能となる。
- ✓ 警戒レベル5相当の情報としての信頼度を高め、住民や自治体等の防災対応を強力に支援。

（参考）改善前の大雨特別警報（浸水害）の発表条件

以下の①又は②を満たすと予想され、かつ、さらに雨が降り続くと予想される地域の中で、洪水キキクル又は浸水キキクルで5段階のうち最大の危険度が出現している市町村等に発表。

- ① 長時間指標 48時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、ともに50格子以上まとまって出現。
- ② 短時間指標 3時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、ともに10格子以上まとまって出現。

避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

令和4年
6月30日～



警戒レベル4に相当するキキクル（危険度分布）は**紫**です

キキクルの色	警戒レベル	特別警報基準値 超過を「黒」で表示	これまでのキキクル	
黒 災害切迫	5相当	警戒レベル4 の「紫」と一致	これまでの キキクルの色	
紫 危険	4相当		濃い紫	警戒レベル
赤 警戒	3相当		うす紫	4相当
黄色 注意	2相当		赤	3相当
白(水色) 今後の情報等に留意	—		黄色	2相当
			白(水色)	—



「紫」が出現した段階で
速やかに安全な場所に
避難する判断を！



九州北部豪雨における赤谷川の被害状況
(平成29年7月7日国土地理院撮影)

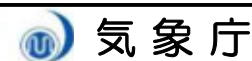
- 質問1) キキクル「黒」が表示されていない場合は災害は発生しないの？
 ⇒そうではありません。「黒」は、大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。
- 質問2) 市町村から発令される避難情報どう違うの？
 ⇒市町村から避難情報が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当する紫や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する赤色が出現した際には、避難指示等が発令されていなくても、自主的に避難の判断をすることが重要です。

避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善(令和4年度実施)

洪水に関する危険度情報の一体的発信

令和5年
2月16日～

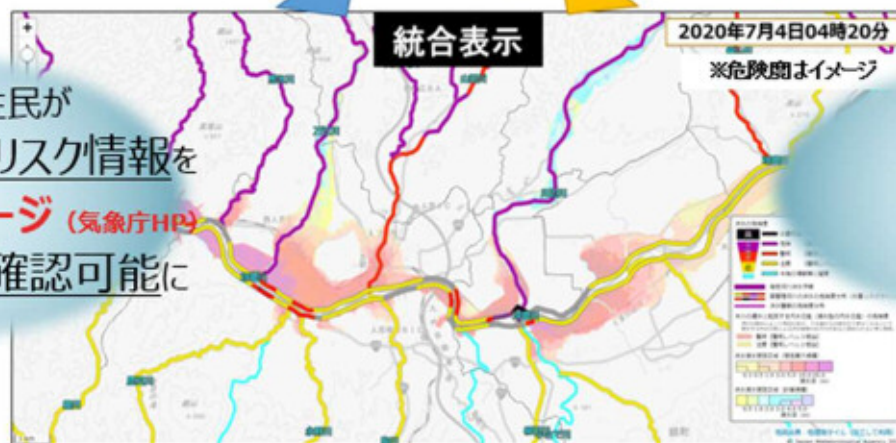


「国管理河川の洪水の危険度分布※」
(水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」
(洪水キキクル)

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民が
それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ (気象庁HP)
でワンストップで確認可能に

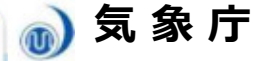
令和5年
2月16日
運用開始

避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表

令和4年
6月13日～



気象庁

改善前

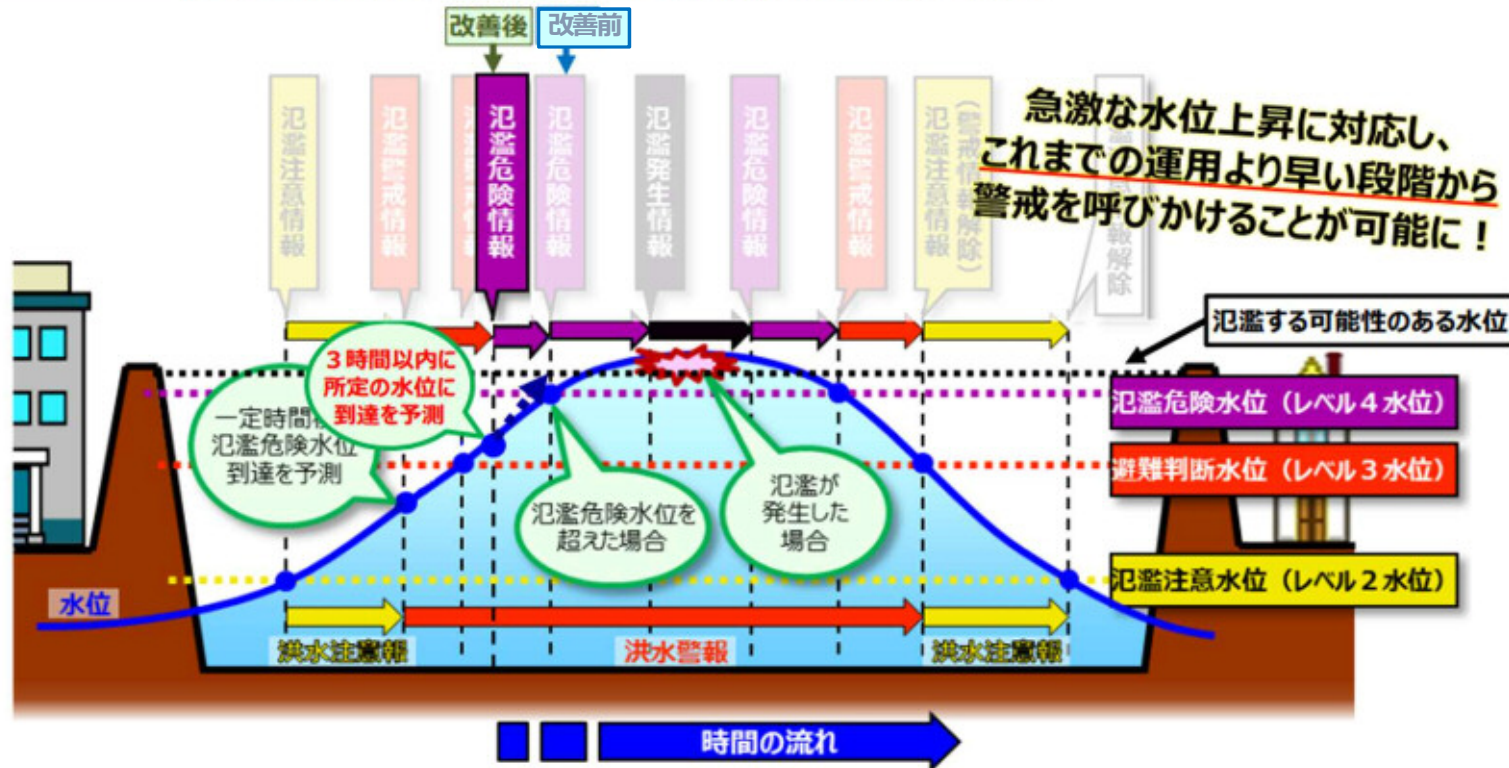
実況水位が氾濫危険水位に到達した場合に、氾濫危険情報を発表。

※ 氾濫危険情報：警戒レベル4相当、避難指示の目安

従来の運用に加えて

改善後

水位が急激に上昇し、3時間以内に、氾濫する可能性のある水位に到達する見通しとなった場合は、予測に基づいて氾濫危険情報を発表。



避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

令和4年
9月8日～

高潮の早期注意情報（警報級の可能性）を毎日発表



- ▶ 台風が存在する場合にのみ発表していた高潮の警報級の可能性を、早期注意情報（警報級の可能性）として毎日発表（気象庁ホームページの「警報・注意報」に各地の高潮の早期注意情報を掲載）。
- ▶ 早期注意情報において高潮に関する警報級の可能性[高]または[中]が予想されている場合、高潮災害への心構えを高める必要があるとされる警戒レベル1に位置付けられます。

気象庁ホームページでの高潮の早期注意情報の掲載イメージ

✓ 台風が存在するかどうかにかかわらず、毎日、高潮の早期注意情報（警報級の可能性）を発表。

東京都の早期注意情報（警報級の可能性）		○年●月12日11時 気象庁 発表									
東京地方では、13日までの期間内に[高]及び[中]はない。今後の情報に留意。											
東京都東京地方		12日			13日			14日	15日	16日	17日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24					
大雨	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下					
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下					
	24時間最大				50以下						
大雪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6時間最大	0	0	0	0	0					
	24時間最大				0						
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-
	最大風速	陸上 9以下	9以下	9以下	9以下	9以下					
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-
	波高	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5					
高潮	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-

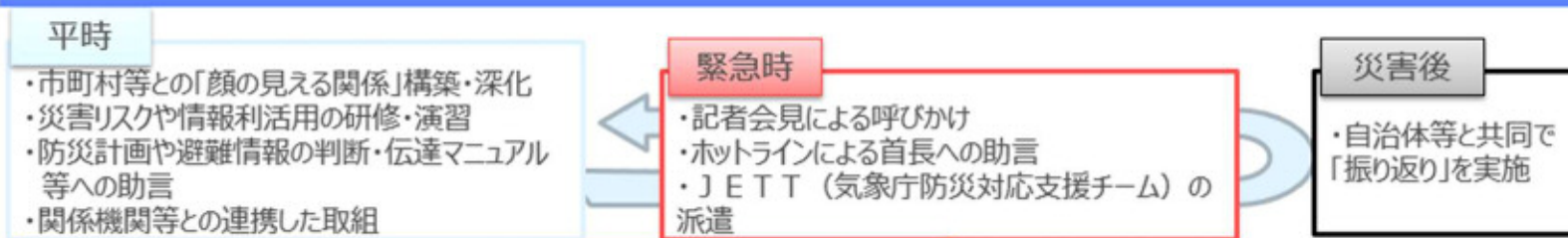
大雨、大雪など他の要素に加える形で提供開始

警戒レベルとの位置づけ

警戒レベル	住民が取るべき行動	気象庁等の情報
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	高潮氾濫発生情報
4	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了する。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	高潮特別警報 高潮警報
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高潮警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	高潮注意報
1	災害への心構えを高める 新たに位置づけ	早期注意情報（警報級の可能性）

「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

地域防災支援の強化—あなたの町の予報官（担当チーム）の取組



「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

島根県を複数の市町村からなる3つの地域に分け、地域毎の災害特性を踏まえた地域専任の担当チーム「あなたの町の予報官」を編成。担当チームの常設により、各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築し、さらに深化させていきます。

【松江地方気象台の担当チーム編成】

松江・出雲・雲南
チーム



隠岐・県央
チーム



浜田・益田
チーム



気象防災ワークショップの推進



【Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、土砂災害編、水害対策編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和3年度までに18市町村で実施。令和4年度は出水期前に実施しました。

積極的にJ E T Tを派遣



【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和3年は、7月に梅雨前線、8月には台風第9号と停滞前線により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、島根県災害対策本部会議に職員を派遣、常駐して、気象解説を実施しました。令和3年度の派遣は17事例。

「振り返り」の業務改善への活用



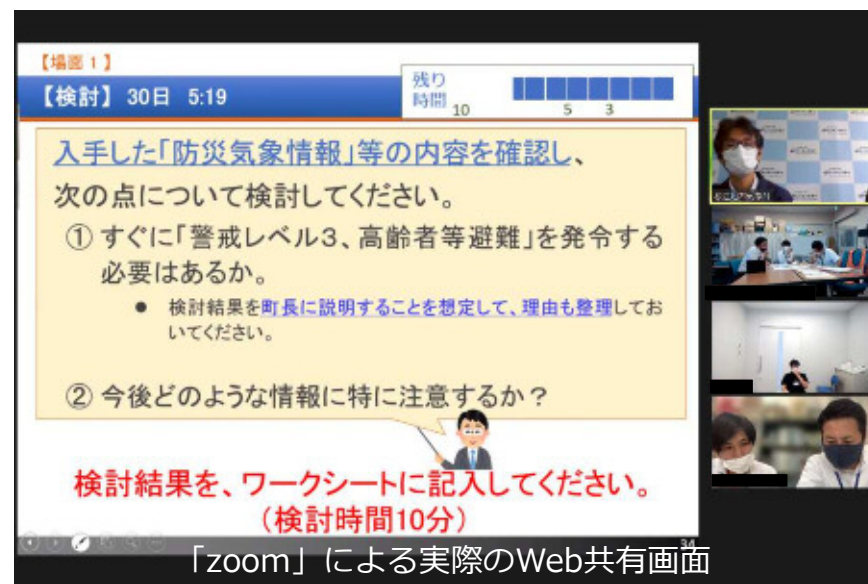
・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック

令和3年は、梅雨前線や台風等により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、県内全市町村担当者と共同で、振り返りを実施し、避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

※あな町TV = 気象台による防災気象情報の解説 (Web)

「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や
 二次元コード、SNSの有効活用

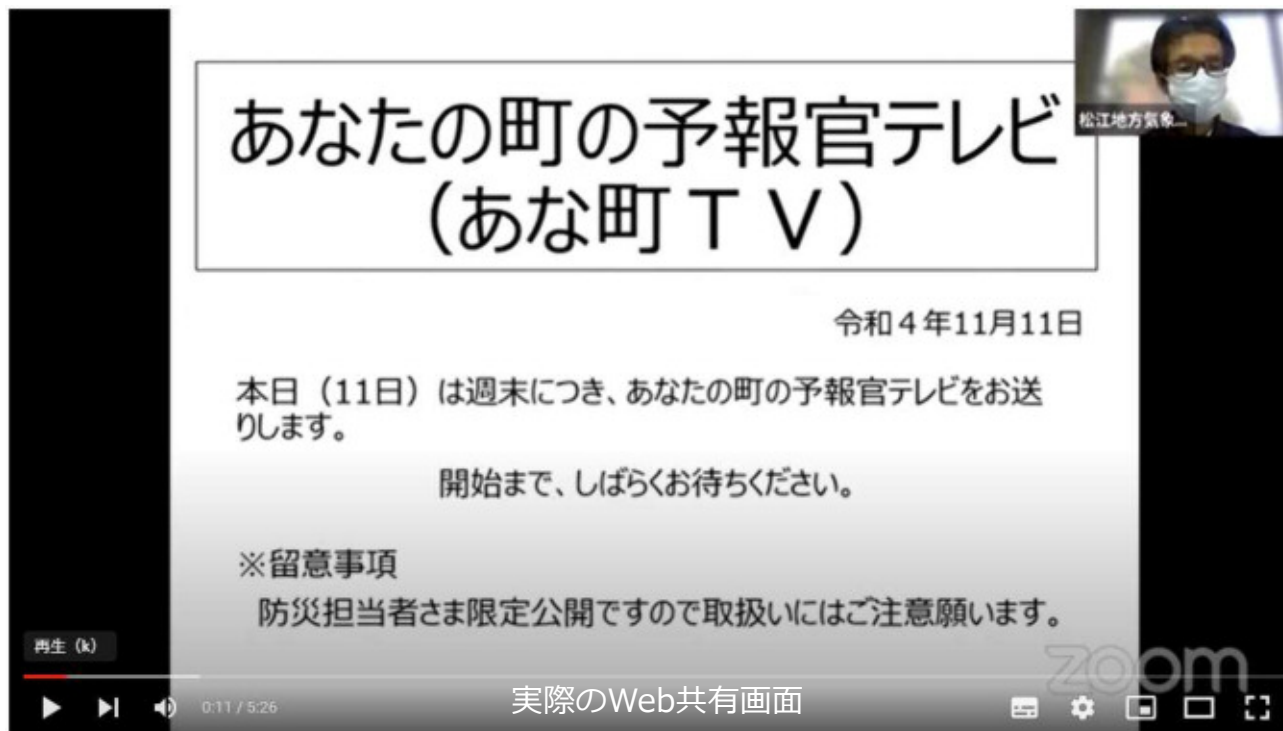
市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催



- 土砂災害・洪水災害が発生するおそれがある状況を想定し、気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、グループワークを実施。
- 各種防災気象情報への理解・有効活用とともに、体制強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって地域防災対応力の向上を支援。

「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や
二次元コード、SNSの有効活用

あなたの町の予報官TV

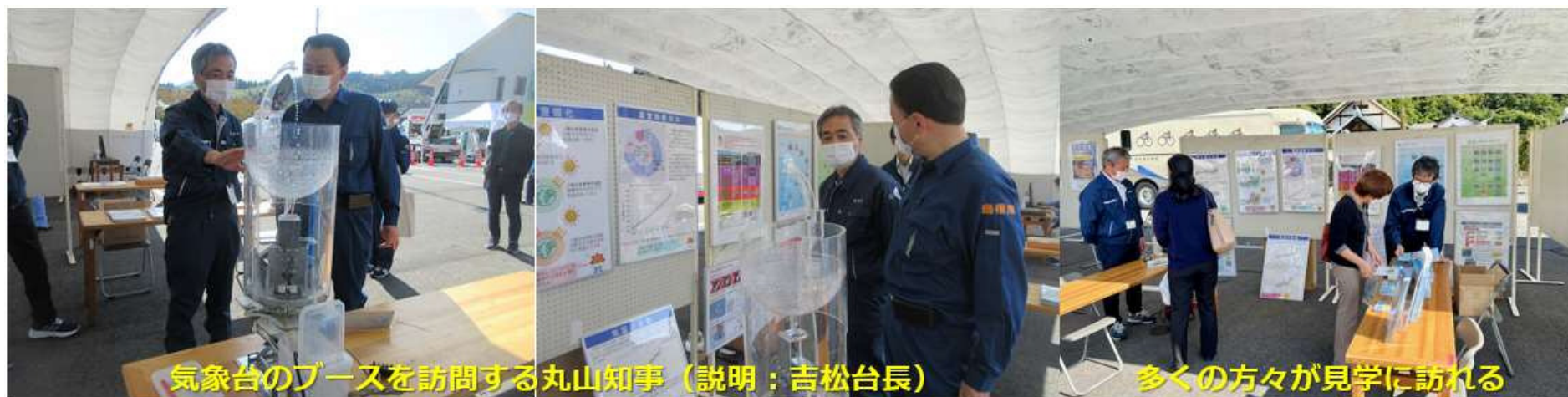


市町村防災担当者向けに、**「あなたの町の予報官TV」**と題した
情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕方に「youtube」にて配信。
週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説
(異常気象が見込まれる際は、随時配信)。

併せて平日は、毎日16時に**「防災メール」**を配信し、きめ細かく防災対応を支援。

住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

「島根県総合防災訓練」において 展示ブースを開設



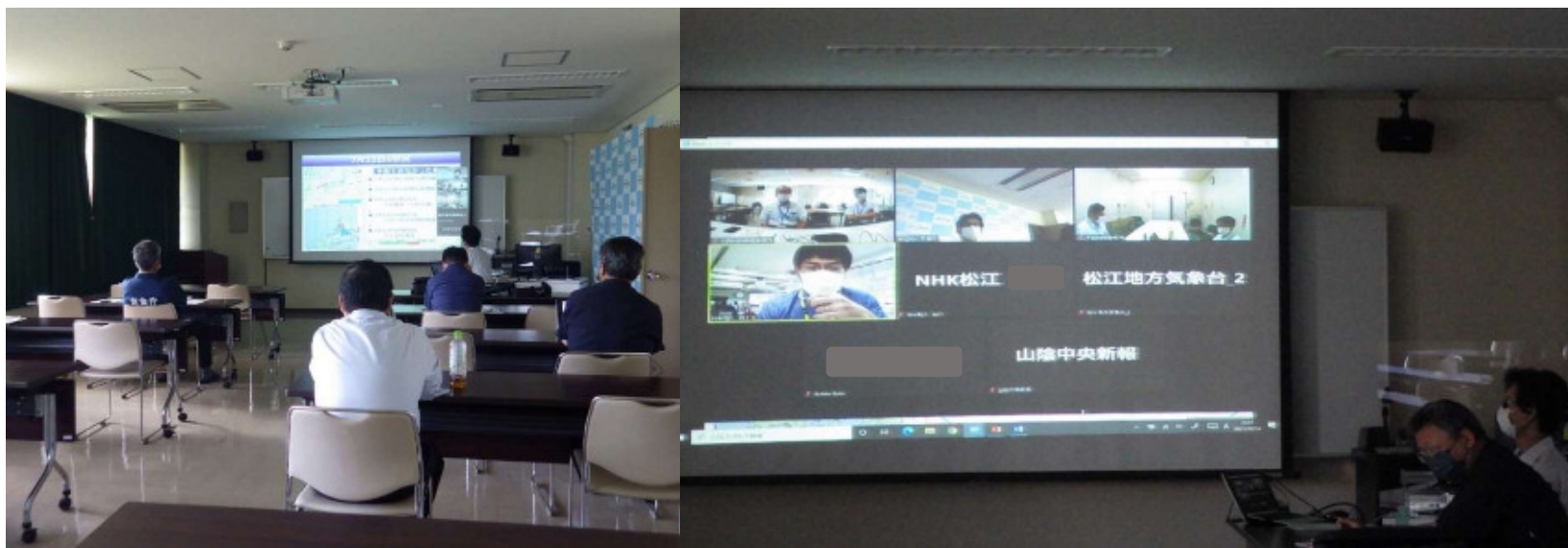
10月16日に隠岐の島町で開催された「島根県総合防災訓練」に参加
広く一般住民に向け**防災に関する展示・解説**を実施

- ・雨量計のカットモデルを展示し、構造・観測原理等を説明。
- ・気象庁が発表する様々な防災気象情報について、説明パネルを掲示。
パンフレットを配布し、防災知識の普及・啓発を行い、住民の防災意識向上に寄与。

報道機関との懇談会をwebにて開催

報道機関との懇談会を定期的で開催

- Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
- 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現
- 雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催



【開催実績と気象台からの話題提供】

- 第4回 令和4年 5月31日「令和4年度 防災気象情報の改善について」「山陰の気象特性（出水期）と季節予報」
- 第5回 令和4年12月 9日「気象庁HPの見方について」「山陰の冬の天気と今冬の予想について」

島根県

○防災情報の周知徹底

◆チラシ



◆考える県政 令和4年5月28日、6月11日

大雨による災害に備えましょう

水害や土砂災害は、いつでもどこで起きるかわかりません。日頃から防災情報に注意し、いざというときに備えましょう。

避難場所や避難経路を確認する

家族や地域の方と、避難場所や避難する道筋を話し合っておきましょう。また、避難所に避難するだけでなく、安全な、緊急・知人宅へ避難することも考えておきましょう。

避難情報の意味を確認する

警戒レベル5 緊急安全確保
既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。

警戒レベル4 避難指示
速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。

警戒レベル3 高齢者等避難
避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整え、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

非常持出品（水、食料、常用薬等）を準備する

必要最低限のものをまとめ、すぐに取り出せるように保管しておきましょう。また、マスクや消毒液、体温計も備えておきましょう。

防災情報の入手方法

◆しまね防災情報ホームページ
島根県の防災情報の総合ページです。
●各種ハザードマップ（水・土砂災害、津波、大規模火災）
●気象情報等 ●土砂災害情報
●雨量・水位情報 ●道路規制情報

◆しまね防災メール
気象・津波情報、気象注意報、土砂災害警戒情報、河川洪水情報、防災行政無線など防災情報メールが届きます。

防犯に際する上
防災危機管理課 0852-22-5885
水害や河川に関する上
災川課 0852-22-5529
土砂災害や河川に関する上
砂防課 0852-22-4261
避難所に関する上
農地管理課 0852-22-5145
消防に関する上
森林管理課 0852-22-5172

出典：令和4年5月28日 山陰中央新報「考える県政」

◆防災に関する展示

令和4年8月29日～9月2日 島根県庁1階ロビー



風水害・土砂災害から命を守るために、避難情報の意味を正しく知りましょう。

警戒レベル4 避難指示で危険な場所から全員避難。
警戒レベル3 高齢者等避難でご高齢の方や障がいのある方など、避難に時間を要する人とその支援者は危険な場所から避難。その他の人も避難の準備を整え、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
警戒レベル5	緊急安全確保（市町村が発令） ※避難指示、避難指示解除、避難指示解除準備、避難指示解除見込み、避難指示解除見込み解除、避難指示解除見込み解除見込み解除、避難指示解除見込み解除見込み解除見込み解除	既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。
<警戒レベル4までに必ず避難!>		
警戒レベル4	避難指示（市町村が発令） ※避難指示、避難指示解除、避難指示解除準備、避難指示解除見込み、避難指示解除見込み解除、避難指示解除見込み解除見込み解除	災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。
警戒レベル3	高齢者等避難（市町村が発令） ※避難指示、避難指示解除、避難指示解除準備、避難指示解除見込み、避難指示解除見込み解除、避難指示解除見込み解除見込み解除	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2	洪水注意報・大波注意報（気象庁が発令）	避難に加え、ハザードマップ等により、自分の避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報（気象庁が発令）	災害への心構えを固めましょう。

日頃からの備えが重要です

- 避難場所や避難経路の確認**
家族や地域の方とハザードマップ等を用いて避難場所や避難する道筋を話し合っておきましょう。また、避難所に避難するだけでなく、安全な緊急・知人宅へ避難することも考えておきましょう。
- 非常持出品（水、食料、常用薬等）の準備**
通常の非常持出品に加え、マスクや消毒液、体温計も備えておきましょう。
- しまね防災メールで防災情報の入手**
気象・津波情報、気象注意報、土砂災害警戒情報、河川洪水情報、防災行政無線など防災情報メールが届きます。

〒690-0001 島根県防災危機管理課 ☎0852-22-5885

出典：令和4年6月11日 山陰中央新報「考える県政」

◆ラジオ（エフエム山陰） 令和4年5月27日

○地域防災力向上のための人材育成

【令和4年度 避難行動要支援者・個別避難計画実務研修】

1. 日 時 令和4年9月1日(木)・2日(金)
2. 場 所 松江テルサ・浜田ワシントンホテルプラザ
3. 受講者 市町村職員、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等 約110名
4. 内 容 講義「個別避難計画の作成と活用に向けた取り組み」
県内市町村による事例紹介、意見交換会(グループワーク)
5. 講 師 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 西野事務局長 他



【令和4年度 島根県自主防災組織リーダー研修】

1. 日 時 令和4年11月12日(土)～13日(日)
2. 場 所 島根県浜田合同庁舎
3. 対 象 自主防災組織構成員、自治会関係者 48名
4. 内 容 災害史、防災気象情報の利活用(松江地方气象台)
ワークショップ、まちあるき・災害図上訓練 他
5. 講 師 静岡大学防災総合センター 牛山教授、山口大学大学院 瀧本准教授 他



【令和4年度 島根県防災士養成研修】

1. 日 時 令和4年5月14日(土)～15日(日)
2. 場 所 いわみーる(浜田市)
3. 受講者 54名
4. 内 容 防災に関する各種講義、救急救命講習、防災士資格取得試験
5. 講 師 NPO法人日本防災士会 宮永理事 他



■小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実

○日原小学校で防災教育を行った。

日時：令和4年10月6日

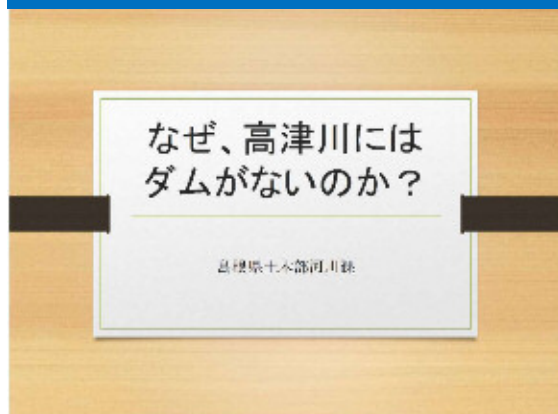
対象者：日原小学校4年生

内容：高津川にダムがない理由、ダムを建設する目的、過去の水害、防災クイズなど

〈授業風景〉



〈配布資料〉



ダムをつくる目的・・・治水と利水

「治水」とは・・・川などを工事したり、ダムによる洪水調節で川があふれないようにすること。

「洪水調節」とは、大雨でたくさんの水が流れるとき、その一部をダムに貯めて、ダムから流す水を減らすことをいいます。

「利水」とは・・・ダムに貯めた水を、発電、飲料水、かんがい、工業用水などに利用するものです。

河川の水量は、雨の状況によって増減し、雨が降らない時は、水が足りなくなることがあるため、ダムに貯めた水を利用することで安定して水を使うことができます。

【防災クイズ】
ひなんをするときの履き物に適しているのは？



益田市

■ 益田市防災訓練の実施

- 大雨による土砂災害警戒情報発令想定訓練を実施した。
- 新型コロナウイルス感染症に対応する避難所設営訓練を実施した。

実施日時 令和4年10月23日(日) 8:00~10:30 晴れ
 実施場所 益田市立小野中学校
 参加機関 益田市、益田警察署、益田広域消防本部
 益田市消防団、女性分団 飯浦地区自主防災会
 島根トヨタグループ、小野地区自治会の皆様
 実施内容 1. 情報伝達訓練、避難訓練
 2. 警戒活動、水防活動、救助訓練
 3. 避難所開設・運営訓練
 参加人員 約200名



避難所受付開設の様子



避難所設営の様子



水防活動の様子



救出時の様子

■ 防災講座等の実施

日時	実施主体等	実施内容	対応状況
4月25日	高津連合自治会	対面懇談会(避難指示等説明)	危機管理課
5月16日	高津地区民生委員児童委員協議会	防災・避難時の対応について(講話)	危機管理課(講話)
6月11日	吉田地区防災協議会	防災学習(講話)	危機管理課(講話)
6月15日	吉田地区民生児童委員協議会	防災学習会(ハザードマップ等説明)	危機管理課(講話)
6月19日	安富自治会	防災学習会(講話)	危機管理課(講話)
7月2日	乙吉自治会	防災学習会(講話)	危機管理課(講話)
10月25日	人権センター	避難所運営物品の紹介	危機管理課(講話)
10月26日	安田地区青少年育成会議	防災学習会	危機管理課(講話)

■ 益田市防災備蓄倉庫

倉庫概要

- ・益田市東町
- ・令和4年2月15日完成(令和3年9月7日着工)
- ・鉄骨造平屋建
- ・延べ面積(横15m×縦8m)120㎡
- ・建築面積 123.56㎡

倉庫の特徴

- ・シャッターを中央にし、倉庫内中央に車両を入れることができ備蓄品の搬出搬入作業の効率化を考えた
- ・棚を木材で仕上げたことにより、棚幅を様々な広さにすることが出来た
- ・梯子にも手すりを付け転落防止を図った
- ・換気扇で温度管理を行い、28℃以上になった際には自動で作動し適宜設定温度を調整する



(2) その他

高津川大規模氾濫時の減災対策協議会 今後のスケジュール

令和4年5月27日(金)
令和4年度 第1回 幹事会

令和4年度の取組予定、今後予定、連絡事項等

令和4年6月3日(金)
令和4年度 第1回 協議会

令和4年度の取組予定 等について

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会・益田圏域県管理河川に関する減災対策協議会 合同開催

令和5年2月1日(水)
令和4年度 第2回 幹事会

令和4年度の取組状況、今後予定、連絡事項等

令和5年3月
令和4年度 第2回 協議会

令和4年度の取組状況、今後予定



令和5年5月
令和5年度 第1回 幹事会

令和4年度の取組状況の報告及びフォローアップ
令和5年度の取組予定

令和5年5～6月
令和5年度 第1回 協議会

令和4年度の取組状況の報告及びフォローアップ
令和5年度の取組予定